

平成 29 年度

事業計画

社会福祉法人やまぶき会
ひのほら保育園
つみき保育園
そよかぜハーモニー保育園

社会福祉法人やまぶき会

平成 29 年度事業計画

「保育・教育の歴史」 ～歴史を振り返る～

「幼稚園教育要領」と「保育所保育指針」は戦後 70 年の歴史を振り返ると、大きく 3 つの画期となる時期があります。

第 1 は、戦後まもなくの「保育要領」の制定と、それが「要領」と「指針」に分離され手確立された時期です。

「要領」という国が示すガイドラインが幼稚園と保育所の双方を含め、さらに家庭での養育までを展望したものとして出発しましたが、それが学校教育の幼稚園と児童福祉施設の保育所の法律上の違いに応じて、規定を明確にしたのです。ただし、保育内容については、六領域として「要領」に定め、それにならって「保育所保育指針」の規定を定めました。

第 2 は、平成元年の改定です。六領域を五領域に再編成し、子どもの主体的な活動の遊びを重視し、環境を通しての教育であることを明確にしました。これは幼稚園と保育所双方に共通します。

第 3 は、平成 20 年の「保育要領」と「保育指針」の同時改定です。「要領」は従来から大臣告示であり、法令としての遵守義務がありましたが、「保育所指針」はこの時初めて大臣告示となり、遵守義務が明確になりました。その際、「保育指針」では、保育過程と指導計画を立てて保育することや、その保育に携わる人は保育の専門家である保育士が行うことが明記されています。

「平成 30 年 教育・保育はどう変わる？」 ～今、改定の意義について～

大きく 3 つの事が挙げられます。

第 1 は、幼稚園と保育所の一層の接近です。密に連絡を取りつつ、改定の作業が進められています。その分担も保育内容の満 3 歳以上児は「保育要領」の検討会議で進め、「保育所保育指針」では、乳児保育・満 3 歳未満児の保育や子育て支援の検討に力を入れています。

第 2 は、認定子ども園や小規模保育所との関連です。子ども子育て支援新制度の施行を受けて、「保育要領」と「保育指針」は、幼保連携型認定子ども園教育・保育要領の改訂を見通して検討されます。「保育所保育指針」では、小規模保育所などの保育事業も視野に入れます。

第3は、発達の連続性の確保です。幼稚園・保育所ともに、小学校以降の学校教育を見通し、その土台を形成する役目を果たします。そのために、こういった柱(資質・能力)、中でも「学びに向かう力」が幼児期から小学校以降へと貫いて育っていくのか、とりわけ5歳児の保育ではこういった子どもの姿を実現しようとするのかを明確にします。

最後に、子育て支援やカリキュラム・マネジメント、保育の見直しと指導の工夫、それに伴う園や保育者の自己評価なども課題となってきています。

園がその力を発揮しやすい環境と管理職の仕事の明確化が進められ、また保育者自身の研修と専門性の発揮が課題となります。 【最近の保育会情報より】

「社会福祉法人制度改革とは」 ～事業運営の透明性の向上～

今日、措置から契約への移行など福祉サービスの供給の在り方が変化する中、地域福祉の中核的な担い手である社会福祉法人においては、効率的・効果的な経営を実践して、利用者の様々な福祉ニーズに対応していくことが求められる。特に福祉ニーズが多様化、複雑化しており、高い公益性を備えた社会福祉法人の役割は重要なものとなっている。(中略)平成18年の公益法人制度改革においては、一般社団・財団法人・公益社団・財団法人について新たな牽制監督する仕組みの導入、会計管理の専門機関である会計監査人制度の導入といったガバナンスを強化する措置が講じられている。

このため、社会福祉法人についても、高い公益性・非営利性を担保するため、公益法人制度改革を参考に、法人が自律的に適正な運営を確保するためのガバナンスの強化と図ることとした。 【東京都社会福祉協議会資料集より】

今般の改正でもっとも大きいものは、「評議員会の設置」及びその「議決機関化」です。旧法では、「評議員会」は任意設置であり、かつ「諮問機関」でしたが、改正法では、すべての社会福祉法人において必ず設置しなければならない機関とされ、これまで、保育園や介護施設のみを運営している法人で設置していなかった法人も設置しなければならなくなりました。改正法では、これまで批判の多かった社会福祉法人の事業運営について、透明性を向上させるために、情報公開の対象の拡大とルールの明確化がなされました。

ここ数年、保育会・社会福祉法はめまぐるしく変動してきています。管理職の在り方、保育者の専門性、質の向上、適正な法人・施設運営に向けて、さらなる努力を重ねていきたいと存じます。

やまぶき会本部、ひのはら保育園、つみき保育園、そよかぜハーモニー保育園が、それぞれの場所で、地域に根付いた役割を果たしていくことができますよう、行政の指導を仰ぎながら歩んでいきたいと考えます。

1 運営方針

- a 平成 29 年度は
 - 4 月当初 ひのはら保育園園児数 46 名（定員 45 名）
 - 4 月当初 つみき保育園園児数 130 名（定員 146 名）
 - 4 月当初 そよかぜハーモニー保育園園児数 46 名（定員 53 名）
- b 保育園職員との懇親会をはかり、職員研修をより一層深めていく。
- c 開かれた保育園として、子育て支援としての機能を果たしていく。
- d 一時預かりなど、子育て支援としての機能を果たしていく。
- e 3 園の職員の交流を行う。

2 役員会及び監査予定

	理事会	評議員会	監事監査
5 月	決算報告、事業報告		前年度内部監査
6 月	役員の変更 理事長の互選	決算報告の承認 新理事新監事の承認	
10 月	補正予算等	〔 補正予算の承認 〕	当年度上半期内部監査
1 月	諸規定の審議等		
3 月	当初予算、事業計画	当初予算の承認	

理事会は上記の開催の他に理事会で決議する事項がある場合には理事長の招集によって開催することがある。

- 3 役員研修 先進地の視察研修
法改正に伴う研修（説明会）役員、事務職員等

4 親睦会

ひのはら保育園

平成 29 年度事業

ひのはら保育園では今年度も引き続き就学前教育との円滑な接続を図るために、小学校との連携を深めていきます。また、福祉事業の一貫として作業所の人たちや地域の方たちの受け入れを行い、花植え・草取りをお願いしています。また自然物を使った遊びを通して地域交流を深め、村の在り方などを教えてもらいながら檜原村の自然の良さを活かした保育をしていきたいと考えています。

平成 29 年度の 4 月入所予定数は 45 名となりました。0 歳児は定員 3 名と定員に満たしていますが年齢によって人数に差があり全体的に村の少子化が進んできています。今後はますます少子高齢化が進み、園児数が少なくなることが予想されます。他園との接触の機会が少ない園児たちには子ども同士の交流を図るため昨年同様お泊り保育、みかん狩りなど同法人つみき保育園との交流を続けて行きたいと考えています。府中市のそよかぜハーモニー保育園が開園したことで、園児、職員共にさらなる三園の交流を深め研修をはかり、園児、職員また保護者が一体になりやまぶき会の向上に努めていきたいと考えております。

1. 今年度の方針

- (1) 平成 29 年度は乳児クラス 0 歳児 4 名（定員 3 名）、1 歳児 12 名（定員 6 名）2 歳児 4 名（定員 6 名）幼児 27 名（定員 30 名）、合計 46 名（定員 45 名）発達遅滞（5 歳児 1 名含む）
- (2) 乳児期は家庭的な雰囲気大切に保育を行い、一人ひとりの情緒安定を図れるようにする。幼児期は友達との関わりを大切にしながら、集団に入っていけるよう、保育者が援助し、社会性を身につけていく
- (3) クラス編成を、3・4・5 歳児の幼児異年齢保育と 0・1・2 歳児の乳児の異年齢保育を行い、保育の内容は保育指針に基づき環境、健康、言語、表現など総合的に取り入れ一人ひとりの発達に応じた保育を行う。
- (4) 食育活動を取り入れ、体験を多くし、食べ物を通して命の大切さを知らせる。
- (5) 地域事業活動として、祖父母との交流、老人ホーム慰問等、又地域の人達との交流、育児相談を行う。

○ 保育目標

優しい心・丈夫な体

- ※ 一人ひとりの成長を受け止めながら家庭的な環境で生活し、遊びを通じて豊かな経験が出来るようにする。
- ※ 異年齢交流の生活を通して、おもいやり、やさしい心が芽生える。
- ※ モンテッソーリ教具のあそびを通して、一人活動を十分に行い、心身の健やかな発達、自由で平和な心を育てる。

○ ひのはら保育園の理念

- ひ 一人ひとりのかがやきをたいせつにし
- の のびのびとした環境で
- は はつらつとした表情がいっぱい
- ら らんらん、わくわく、ハッピーな保育園

2. 施設事業運営

(1) 児童の待遇

ア、健康管理

園児健康診断	春(4月)・秋(10月)の年2回
0歳児 毎月	
歯科検診	年1回(6月)
身体測定	乳児 月1回
	幼児 隔月
健康管理日誌	クラス毎に毎日記録

イ、安全管理

避難訓練	年間 12回
消火訓練	年間 12回
園児安全確認	随時
園舎安全確認	随時

(2) 職員の待遇

ア、職員構成

園長 1名	保育士 8名	栄養士 1名
調理 1名	嘱託医(内科・歯科) 2名	
パート職員随時		

イ、健康管理

健康診断	年1回
細菌検査	毎月1回

ウ、会議

職員会議	毎月2回
カリキュラム（乳児、幼児）	毎月各1回
献立会議	毎月1回

エ、研修計画

4園合同勉強会	全員	
ほいくゼミナール・21	全員	
夏期研修会派遣	全員	
保育園見学	随時	
モンテッソーリトレーニングセンター		1名
自己研修	全員	

オ、職員厚生

職員親睦会

(3) 保護者への対応

ア、子育て相談

イ、栄養士による離乳相談

ウ、保育参加、懇談会

・保育参加、参観

・個人面談・・・随時受入れ

エ、要望、苦情アンケートに対応

オ、保護者会役員（会長、副会長、会計）

3. 施設事業管理

(1) 児童処遇事務

児童表・年間保育計画・月案・週案・保育日誌の作成

園児健康診断記録

歯科検診記録毎日の園児健康記録

献立表の作成及び記録

給食日誌の作成

集団給食施設栄養報告の作成

(2) 設備関係

遊具・・・乳児遊具、幼児遊具、園庭園舎の整備

(3) 保育用品購入

必要に応じて購入

(4) 備品購入

必要に応じて購入

(5) 災害対策

ア、避難訓練・消火訓練

避難訓練表により年 12 回実施する

一斉引取り訓練

イ、防災設備の点検

日常点検 避難訓練時

徹底点検 年 2 回 9 月（保守管理業者による点検）

ウ、防災用品の設備

非常用備蓄品は給食で使用する缶詰類とし、保管庫に保管する

拡声器、ホイッスル、職員用防災用品の購入

エ、修繕

必要に応じて

オ、安全 施設、固定遊具の点検

4. 地域社会との関連

- (1) 診療所、福祉センター、駐在所、役場、消防署、やすらぎの里、郵便局、図書館を訪問
- (2) 未就園児との交流
- (3) 桜原苑、デイサービス訪問
- (4) 園児の祖父母を招待
- (5) 小中学生ボランティア受け入れ
- (6) 地域のお年寄りとの交流

5. 行事

親子遠足（4 月）

お泊り保育・夕涼み会（7 月）

運動会（10 月）

みかん狩り（11 月）

クリスマス会（12 月）

お別れ会・お別れ遠足・卒園式（3 月）

6. 外部講師

※ 体操教室

※ 生け花教室

※ 茶道

※ リトミック

ひのほら保育園 職務分担

< 保育・事務 >

平成 29 年度

役 職	役 割
園 長	施設運営管理、会計責任者、人事管理、安全管理、役所関係、保育指導、東京都関係、ほいくゼミナール・21 関係及び研修計画・報告書類全般、職員研修・報告チェック、防災委員長、理事会資料作成、日誌指導、事務書類管理、園内安全チェック、各マニュアル作成、保育指導、近隣対応保護者相談、子育て支援、修繕箇所点検業者依頼、新人職員育成、シフト作成及びチェック、乳幼児遊具点検、備品管理点検、モンテッソーリ指導、保育関係全書類チェック、諸会議関係、苦情処理関係、衛生管理、食事食育関係、防災関係 休暇簿チェック
副園長	会計全般、出納責任者、東京都・役場書類関係及び整理、小口現金管理・社会保険関係、園長事務補佐、シフト関係、残業計算、接客・その他事務一般、黒板記入、食育チーム食育計画、調理
乳児担当保育士	0 歳児担任、クラス運営、遊具点検
乳児担当保育士	0・1 歳児担当、クラス運営、遊具点検
乳児担当保育士	1 歳児担任、クラス運営、遊具点検
乳児担当保育士	1 歳児担任、クラス運営、遊具点検
乳・幼児担当 保育士	2・3 歳児担任、クラス運営、遊具点検
幼児担当保育士	4 歳児担任、クラス運営、遊具点検
幼児担当保育士	5 歳児担任、クラス運営、遊具点検
パート保育士	0 歳児担任、クラス運営、遊具点検
パート保育士	5 歳児支援担当
パート保育士	遅番保育、4・5 歳児保育
パート	早番保育補佐、乳児補佐
パート	4・5 歳児保育補佐
パート	4・5 歳児保育補佐

<調理>

栄養士	献立作成、調理、栄養指導、食育指導及び乳児食事指導 衛生管理
調理員	調理、衛生管理
パート調理員	調理、衛生管理
パート調理員	調理、衛生管理、クッキング指導（年5～6回）
パート調理員	調理、衛生管理、保育補佐 遅番補佐

<清掃>

パート	清掃、保育室・園舎周り
-----	-------------

<外部講師>

リトミック
体操教室
お茶教室
生け花教室

つみき保育園

平成 29 年度事業計画

<計画にあたって>

指定管理 6 年目を迎える平成 29 年度は、年齢に応じた「個別遊びを充実し一人ひとりを大切にする保育」「家庭的な環境作り」「遊びを通して身につく園生活」を柱にし、保護者と園児が安心して過ごすことができる保育をします。前年度 1 年間をかけて、法人としての考え方を原点に、つみき保育園の理念がわかりやすくなるよう職員全体で見直しをしました。職員全員が理念に基づいて職務と、振り返りを行いながら進めていきます。

武蔵村山市学園の地域は、近隣に自然を生かした公園が多くあります。散歩を通して自然物に触れる機会や交通ルールを身につける体験を行います。園内にある畑で野菜栽培や食育活動を行います。市内には、みかん園、芋掘り畑、伝統的な文化施設等がある為、子ども達が個々の感受性を高めることができるよう様々な体験活動を取り入れていきます。行事を通して、個々のやる気や自主性、他者を思いやる心が、身につくよう職員間で話し合いを持ちながら協力して行います。

職員は環境管理士、国際モンテッソリーディプロマ取得職員が、学んだ知識や発想を活動に生かし、より充実した保育を進めていきます。

新人研修及び中堅研修また、幅広い分野の個人研修などに積極的に参加し、個々のスキルアップを図りながら、学びを保育に生かしたいと考えています。そして、3 園の連携を密にし、交流機会を増やし学び合い進めていきます。地域、小学校との交流を通して情報を共有し地域に開かれた保育園として役割を果たしていく所存です。

2. 今年度の方針

- (1) 平成 29 年度当初は乳児クラス 0 歳児 9 名（定員 14 名）、1 歳児 24 名（定員 24 名）、2 歳児 24 名（定員 24 名）、幼児 73 名（定員 84 名）、計 130 名（定員 146 名）です。（支援を要する児の統合）
- (2) 乳児期は家庭的な雰囲気大切に保育を行い、一人ひとりの情緒安定が図れるようにする。幼児期は、体験活動を通して年齢に応じた自立をし、友達との関わりを大切にしながら、集団に入っていけるよう、保育者が援助し、社会性を身につけていく。
- (3) 地域事業活動として、地域の方を行事に招待したり、園庭開放や園内見学をする未就園児の体験、小学校・中学校との交流、ボランティア・実習生の受け入れ等を行う。
- (4) 保育内容は保育指針を基に、環境、健康、言語、表現等を総合的に取り入れた体験活動を行う。個々に合う個別遊びの提供をする。クラス編成を、3・4・5 歳児の年齢別保育と乳児の流動的な年齢別保育を行い、年齢毎にモンテッソリー教育による発達に応じた個別対応を行う。
- (5) 食育教育による様々な体験活動を通して、食物や命の大切さを知らせる。

○ 保育目標

優しい心・丈夫な体

- ※ 一人ひとりの成長を受け止めながら家庭的な環境で生活し、遊びを通じて豊かな経験が出来るようにする。
- ※ 異年齢交流の生活が自然発生的に行われるような環境下で、おもいやり、やさしい心が芽生える。
- ※ 一人遊び、コーナー遊びなど、興味のある活動を十分に行い、探求心や意欲、他者への思いやり、平和な心を育てる。

○ つみき保育園の保育理念

- つ つみきっこ
- み みんなの笑顔で
- き きらきら、わくわく、ハッピーな保育園

2. 施設事業運営

(1) 児童の待遇

ア、健康管理

園児健康診断	春（4月）・秋（10月）の年2回 0歳児毎週
歯科検診	年1回（6月）
身体測定	乳児毎月・幼児毎月
健康管理日誌	クラス毎に毎日記録

イ、安全管理

避難訓練	年間12回
消火訓練	年間12回
園児安全確認	随時
園舎安全確認	随時

(2) 職員の処遇

ア、職員構成

つみき保育園

園長 1名 主任 2名 保育士 18名 栄養師 1名
調理員 4名 看護師 1名 事務員 1名
嘱託医（内科・歯科）2名
パート職員随時

イ、健康管理

健康診断	年1回
細菌検査	毎月1回 全職員

ウ、会議

職員会議	毎月 1 回
カリキュラム（乳児、幼児）	毎月各 1 回
給食会議	毎月 1 回
支援を要する子の為の会議	適宜
安全連絡会議	適宜
保育・モンテ会議	適宜

エ、研修計画

4 園合同勉強会	全員
ほいくゼミナール・21	全員
夏期研修会派遣	全員
保育園見学	随時
モンテッソーリトレーニングセンター	2 名
自己研修	全員

オ、職員厚生

職員親睦会

(3) 保護者への対応

ア、子育て相談

イ、看護師・栄養士による離乳相談

ウ、保育参加、懇談会

・保育参加、参観

・個人面談・・・随時受入れ

エ、利用者アンケート（ほいく ORG）

オ、保護者会役員（会長、副会長、会計）

3. 施設事業管理

(1) 児童処遇事務

児童表・年間保育計画・月案・週案・保育日誌の作成

園児健康診断記録

歯科検診記録毎日の園児健康記録

献立表の作成及び記録

給食日誌・集団給食施設栄養報告の作成

園だよりの作成

(2) 設備関係 遊具・・・乳児遊具、幼児遊具、園庭園舎の整備

(3) 保育用品購入 必要に応じて購入

(4) 備品購入 必要に応じて購入

(5) 災害対策

ア、避難訓練・消火訓練

避難訓練表により年 12 回実施する

一斉引取り訓練 9月

イ、防災設備の点検

日常点検 避難訓練時

徹底点検 年 2 回 (業者による点検)

ウ、防災用品の設備

非常用備蓄品は給食で使用する缶詰・水類とし、保管庫に保管する

拡声器、ホイッスルなどの用意

エ、修繕

必要に応じて

オ、安全

固定遊具の点検

AED、防犯カメラの点検

4. 地域社会との関連

(1) つみきっこ広場 週 1 回 (火)

(2) 小中学校との交流 (ミニ先生になろう体験、職場体験、小 1 交流)

(3) 実習生・ボランティア受け入れ

(4) 夕涼み会、運動会、クリスマス会への参加の誘い

(5) ちいろば教室との交流

5. 行事

入園式 (4 月)

子どもの日の集い (5 月)

お泊り保育・夕涼み会 (7 月)

運動会 (10 月)

秋の幼児遠足 (10 月)

芋掘り・みかん狩り・みのりの秋 (11 月)

クリスマス会 (12 月)

お店屋さんごっこ (1 月)

お別れ遠足・卒園式 (3 月)

6. 外部講師

※ 体操教室

※ リトミック

※ 工作教室

つみき保育園 職務分担

平成 29 年度

< 事務 >

役 名	役 割
園長	施設運営管理、会計責任者、人事管理、安全管理、市役所関係、保育指導、ほいくゼミナール・21 関係及び研修計画・報告書類全般、職員研修・報告チェック、防災委員長、理事会資料作成、日誌指導、園便り作成、事務書類管理、園内安全チェック、各マニュアル作成、保育指導、近隣対応保護者相談、子育て支援、修繕箇所点検業者依頼、新人職員育成、シフト作成及びチェック、乳幼児遊具点検、備品管理点検、モンテッソーリ指導、保育関係全書類チェック、諸会議関係、苦情処理関係、衛生管理、食事食育関係、防災関係 休暇簿チェック
主任	保育指導、東京都書類作成補佐、安全管理、ほいくゼミナール・21 関係及び研修計画・報告書類管理全般、日誌指導、保育書類チェック、事務書類、園内安全チェック、各マニュアル作成補佐、保育指導、近隣対応、保護者相談、子育て支援、修繕箇所点検チェック、新人職員育成、研修書類チェック、乳児・幼児会議補佐、献立会議補佐、避難訓練簿、遅番教材購入配置、行事立案補助、鍵類チェック、休暇簿管理、写真及び映像管理（はいチーズ等）、保健衛生補助、保育補助、シフト作成、接客、安全管理(入口)黒板記入、乳幼児遊具点検、備品管理点検、書類チェック、発注チェック、園だより作成配布、回覧版及び処理、駐車場配置、近隣対応、延長保育・一時保育料金管理、遅番書類関係書類、接客
看護師	園児視診及び健康管理、園医連絡、保健衛生管理、保健だより作成 園児健康手帳管理、保健衛生用品購入管理、0 歳児指導、監査書類作成（保健）、園児身体測定、園児視力・聴力検査、園児定期検診、事故簿、黒板記入、離乳食指導、写真ファイル整理・掲示、モンテッソーリ指導
事務	出納責任者、法人事務全般、施設事務全般、法人・施設会計全般、理事会資料作成、タイムカード他労務管理、市書類作成、接客

<保育士常勤>

乳児担当	0歳児担任、クラス運営、遊具点検
乳児担当	0歳児担任、クラス運営
乳児担当	0歳児担任、クラス運営
乳児担当	0歳児担任、クラス運営
乳児担当	1歳児担任、クラス運営、遊具点検
乳児担当	1歳児担任、クラス運営
乳児担当	1歳児担任、クラス運営
乳児担当	1歳児担任、クラス運営、
乳児担当	1歳児担任、クラス運営
乳児担当	1歳児担任、クラス運営、産休代替
乳児担当	2歳児担任、クラス運営、遊具点検
乳児担当	2歳児担任、クラス運営
乳児担当	2歳児担任、クラス運営
乳児担当	2歳児担任、クラス運営
幼児担当	3歳児担任、クラス運営
幼児担当	3歳児担任、クラス運営、
幼児担当	4歳児担任、クラス運営、遊具点検
幼児担当	5歳児担任、クラス運営、遊具点検
幼児担当	5歳児担任、クラス運営
幼児フリー	幼児担当、事務

<保育士パート、保育補佐>

保育士ワーク	0歳児担当、児童表、ノート記録
	0歳児担当、児童表、ノート記録
保育士ワーク	1歳児担当、児童表、ノート記録
	1歳児担当、児童表、ノート記録
保育士ワーク	2歳児担当、児童表、ノート記録
	2歳児担当、児童表、ノート記録
保育士ワーク	4歳児支援、児童表、ノート記録
	4歳児担当、児童表、ノート記録
パート保育士	早番保育
パート保育士	遅番保育
保育補佐	遅番保育補佐
保育補佐	幼児モンテッソーリ指導

< 調理 >

栄養士	献立作成、調理、栄養指導、食育指導、衛生管理、 防災食管理
栄養士	離乳食献立作成、調理、栄養指導、衛生管理指導、 アレルギー対応
調理員	調理、衛生管理
調理員	調理、衛生管理
調理員	調理、衛生管理
パート調理員	調理、衛生管理

< 業務委託 >

嘱託栄養士	栄養管理指導、食育指導
-------	-------------

< 清掃及び用務 >

パート	清掃、保育補助
パート	清掃、保育補助
パート	清掃、保育補助
パート	用務全般

< 外部講師 >

リトミック
体操教室
工作教室

そよかぜハーモニー保育園

平成 29 年度事業計画

＜計画にあたって＞

「そよかぜハーモニー保育園」が設立して一年が経ちました。今年度も幼児(4歳・5歳)の人数が定員数を満たしていませんが、年間の行事を多く取り入れながら計画を進めていきます。28年度の最後に保護者の方に「利用者調査表」を配布しました。

その結果をふまえ、今年度の新たな取り組みとして、近隣の方との交わりを計画し交流を深めていきたいと考えています。

＜保育目標＞

「四季の自然の息づかいを感じながら、思う存分あそび、
ゆったりとした時間・空間の中で、生活・知育活動を楽しみ、
やさしさや思いやりのある心をはぐくんでいきます

保育園に近い公園は歩いて3分です。午前中・午後と毎日遊びに出かけます。今年は大きな子は遠くまでの散歩を計画しています。四季折々の自然に触れ、時にはお弁当箱に詰めて外での食事を楽しみ、戸外での遊びを満喫していきたいと考えています。

室内では、乳児は家庭的な環境の部屋でゆったりと過ごします。3歳以上の子ども達は異年齢で関わりながら、大きな子と小さな子がモンテッソーリの遊びや集団保育を楽しみます。

3. 今年度の方針

- (1) 平成 29 年度は乳児クラス 0 歳児定員 3 名、1 歳児定員 10 名
2 歳児定員 9 名、幼児 24 名 (定員 30 名)、合計 46 名 (定員 53 名)
- (2) 乳児期は家庭的な雰囲気を大切にされた保育を行い、一人ひとりの情緒安定が図れるようにする。幼児期は友達との関わりを大切にしながら、集団に入っていけるよう、保育者が援助し、社会性を身につけていく
- (3) クラス編成を、3・4・5 歳児の幼児異年齢保育、0・1・2 歳児は年齢別乳児の保育を行う。保育内容は保育指針に基にし、環境、健康、言語、表現など総合的に取り入れ一人ひとりの発達に応じた保育を行う。
- (4) 食育教育を取り入れ、体験活動を多くし、食べ物を通して命の大切さを知らせる。
- (5) 地域事業活動として、祖父母との交流、又、地域の人達との交流、育児相談を行う。

○ 保育方針

一人ひとりの子ども達が、心身ともに健やかに成長できるように、「食べる」「寝る」「あそび」の生活を中心に過ごします。また、基本的な生活習慣を身につけるとともに、集団生活の中で社会性、自主性・創造性を育て、一人ひとりが考え合い、協力し合って行動できるようにしていきます。

2. 施設事業運営

(1) 児童の待遇

ア、健康管理

園児健康診断	春（4月）・秋（10月）の年2回 0歳児毎月
歯科検診	年1回（6月）
身体測定	乳児毎月・幼児毎月
健康管理日誌	クラス毎に毎日記録

イ、安全管理

避難訓練	年間 12回
消火訓練	年間 12回
園児安全確認	随時
園舎安全確認	随時

(2) 職員の待遇

ア、職員構成

園長	1名	主任	2名	保育士	6名
看護師	1名	栄養士	1名	調理	1名
嘱託医	1名	歯科医	1名		
パート職員随時					

イ、健康管理

健康診断	年1回
細菌検査	毎月1回

ウ、会議

職員会議	毎月1回
支援を要する子の会議	随時
安全会議	毎月1回
カリキュラム（乳児、幼児）	毎月1回
献立会議	毎月1回

エ、研修計画

4園合同勉強会	全員
ほいくゼミナール・21	全員
夏期研修会派遣	全員
保育園見学	随時
モンテッソーリトレーニングセンター	1名

自己研修
オ、職員厚生
職員親睦会

全員

(3) 保護者への対応

- ア、子育て相談
- イ、栄養士による離乳相談 栄養士
- ウ、保育参加、保育参観、懇談会（6月、2月）
 - ・個人面談・・・ 随時受入れ
- エ、要望、苦情アンケートに対応
- オ、保護者からの要望がある場合は保護者会設置

3. 施設事業管理

(1) 児童処遇事務

- 児童表・年間保育計画・月案・週案・保育日誌の作成
- 園児健康診断記録
- 歯科検診記録毎日の園児健康記録
- 献立表の作成及び記録
- 給食日誌の作成
- 集団給食施設栄養報告の作成

(2) 設備関係

- 乳幼児用遊具の購入、設置

(3) 保育用品購入

- 必要に応じて購入

(4) 備品購入

- 必要に応じて購入

(5) 災害対策

ア、避難訓練

- 避難訓練表により年 12 回実施する

- 一斉引取り訓練

イ、防災設備の点検

- 日常点検 避難訓練時

- 徹底点検 年 2 回 9 月（保守管理業者による点検もある）

ウ、防災用品の設備

- 非常用備蓄品は給食で使用する缶詰類とし、保管庫に保管する
- 拡声器、ホイッスル、職員用防災用品の購入

エ、修繕

- 必要に応じて

オ、安全 施設、固定遊具の点検

4. 地域社会との関連

- (1) 周辺の交流
- (2) 未就園児との交流
- (3) 園児の祖父母を招待
- (4) 小中学生ボランティア受け入れ
- (5) 地域との交流

5. 行事

春の遠足
ファミリープレイデー
芋ほり
クリスマス会 (12月)
うどん作り
お店屋さんごっこ
お別れ遠足
卒園式

6. 外部講師

- ※ 体操教室
- ※ リトミック

そよかぜハーモニー保育園 職務分担

< 事務・保育 >

平成 29 年度

役 職	役 割
園 長	法人全体運営管理、施設運営管理、人事管理、労務管理、会計管理、会計責任者、役所関係、法人会議等事務、安全管理、監査書類作成、保育指導、近隣対応、教材購入、保育関係書類全般、苦情処理関係、衛生関係、調理全般管理、食事食育関係、防災関係、研修関係、園だより、新人職員育成・修繕箇所点検、重要事項説明書、子育て相談
看護師	園児視診、健康管理、園医連絡、保健衛生、保健便り作成、保健衛生用品購入管理、園児身体測定、内科検診、離乳指導、0歳児指導事故簿、保護者指導、子育て相談
主任	2歳児担当、保育指導、保育事関係書類指導、監査書類、マニュアル作成、カリキュラム指導、行事立案、日誌チェック、会議録、園だより、休暇簿、保健衛生、備品関係、避難訓練簿、シフト、近隣対応、写真管理、会議資料チェック、子育て相談
主任	4～5歳児担当、保育指導、障害児保育指導、安全点検、親睦会、子育て相談
乳児担当	0歳児担任、クラス運営
乳児担当	1歳児担任、クラス運営
乳児担当	1歳児担任、クラス運営
乳児担当	2歳児担任、クラス運営
幼児担当	3歳児担任、紙芝居、本、教材点検
幼児担当	4歳児担当、クラス運営
パート保育士	早番保育
パート保育士	遅番保育
パート保育士	1歳児保育補佐
パート保育士	1歳児保育補佐
パート保育士	幼児保育補佐
パート	遅番保育

<調理>

栄養士	調理、献立作成、栄養指導、食育指導及び乳児食事指導、衛生管理
調理員	調理、衛生管理

<事務>

パート	会計、小口現金管理、出納責任者、役所関係書類、社会保険関係 労務書類管理、園長事務補佐、その他事務一般
-----	--

<外部講師>

リトミック
体操教室